

## ももの収穫始め予測（令和5年）

長野県果樹試験場(6月6日)

ももの成熟日数（開花期から収穫期までの日数）は、硬核期までの幼果期の気温に大きく影響を受けます。

果樹試験場（須坂市小河原）では、過去の生態と平均気温の関係を調査し、主要4品種について、満開日の翌日から50日間の平均気温が高いほど、成熟日数が短くなる関係を認め、これを基に作成した収穫予測式（平成29年 第2回技術情報）により、収穫始めを予測しています。

本年の満開日は平年より2週間程度早まりましたが、収穫始めは平年より1週間程度早まる予想です。また昨年と比較すると、収穫始めは1～2週間程度早まる予想です（表1）。

ももは、収穫直前の気温が高いと成熟が遅れる傾向にあるため、収穫前の気温の状況を注視して収穫期を判断してください。特に「川中島白桃」は、夏期が高温の年に、成熟が遅くなる傾向が強いため、内部品質を良く確認し、早採りに注意してください。

表1 令和5年度 長野県果樹試験場におけるもも4品種の収穫始め予測

品種	満開日	満開後1～50日の平均気温	満開から収穫始めまでの日数	収穫始め(予測日)	平年比(実績)	昨年比(実績)
白鳳	4月9日	14.5℃	108日	7月26日	-6	-13
あかつき	4月7日	14.0℃	108日	7月24日	-8	-16
なつっこ	4月7日	14.0℃	119日	8月4日	-6	-8
川中島白桃	4月13日	14.9℃	126日	8月17日	-7	-12

気温は地域気象観測システム（アメダス、長野県長野）より  
平年値は2003～2022年の平均値。